



梅の香だより

令和8年3月2日
ねづやま夢の学び舎
世田谷区立梅丘中学校
校長 石綿 健一郎
令和7年度 第11号

学校関係者評価アンケートより

保護者の皆様、地域の皆様、今年度も本校の教育活動に多大なご支援、ご協力をいただき、ありがとうございました。3月に入り、3年生は卒業式まであと、17日。1・2年生も次の学年に向けて、気持ちを新たにしているところです。

11月にご協力をお願いしました「学校関係者評価アンケート」について集計がまとまり、1月・2月と学校関係者評価委員会が開かれ、今年度の振り返りと来年度へ向けての方針を検討しているところです。今月の学校だよりでは、結果の一部についてご報告いたします。

「学校関係者評価アンケート」の結果から、生徒・保護者対象の「学校生活は、楽しい」、「学校行事は、楽しい」という質問に対しての肯定的評価（「とても思う」、「思う」の合計）が生徒では92%（①）、97%（②）、保護者では87%（③）、94%（④）と高い評価を得ています。また、地域向けの「学校行事の内容は充実している（⑤）」という質問に対しても、肯定的評価が100%と、生徒が健やかに学校生活を送り、行事に熱心に取り組んでいる姿が高く評価されました。また、生徒対象の「授業の発表や話し合いの場面で、他者の発表や発言をしっかりと聞いて理解しようとしている（⑥）」「授業では、考えたことを話し合ったり、発表し合ったりする機会がある（⑦）」という質問項目では肯定的評価が両方ともに97%、保護者向けの「学校の教育活動は子どもの成長につながる（⑧）」という質問項目では肯定的評価が92%と、学習面も含めて、生徒が充実した学校生活を送ることができていると判断できます。

一方、学校生活に不安を感じている場面があることも課題として指摘されています。また、「自分の将来について考える授業がある（⑨）」「授業を通して知りたい、学びたいという意欲が高まった（⑩）」等、目標としていた数値に届かない項目もありました。本を読むことが好きな生徒を増やすこと、地域との連携活動についての発信力を高めていくことも課題の一つです（「本を読むのが好きである（⑪）」、「地域の人や施設を教育活動に活かしている（⑫）」）。

現在、学校関係者評価委員会でアンケートの分析を進めているところです。それを受けて、次年度に向けての改善方策も検討してまいります。来年度も、生徒が主体的に活動し、安心して学校生活を送ることができる「笑顔のあふれる学校」を目指して教育活動を進めます。引き続き、ご支援、ご協力をお願いいたします。なお、学校関係者評価アンケートの集計結果については、後日、学校HPでもお知らせします。

■とても思う ■思う ■あまり思わない ■思わない □わからない

